



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

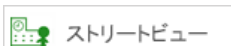
支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

広大公式アカウント一覧



[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成21年1月-12月](#) > アクセシビリティリーダー認定証授与式

アクセシビリティリーダー認定証授与式

NEWS RELEASE



広島大学学長室広報グループ
〒739-8511 広島市鏡山 1-3-2
TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp
(※@は半角に置き換え送信してください。)

平成21年3月6日

人に優しい社会をリードする「アクセシビリティリーダー」 第3期生22名を認定 2009年3月13日、学長より認定証授与

広島大学は、人に優しい社会をリードする人材の育成事業「アクセシビリティリーダー育成プログラム」を2006(平成18)年度より実施し、資格認定を行っています。本年度は第3期生に対して、2008年11月8日、9日の2日間にわたって認定試験を本学で実施し、22名(大学院生3名、4年生1名、3年生5名、2年生13名)を認定いたしました。つきましては、下記のとおり、認定証授与式を開催いたします。

日 時:平成21年3月13日(金)15:00~15:30
場 所:広島大学東広島キャンパス 法人本部 4F会議室
式次第
一、開 会
一、学事報告 :佐野 真理子 アクセシビリティセンター長 (総合科学研究科・教授)
一、認定証授与:浅原 利正 学長
一、学長式辞
一、祝 辞 :上 真一 副学長・理事(教育担当)
一、答 辞 :アクセシビリティリーダー代表
一、閉 会
一、写真撮影

【アクセシビリティリーダーとは】

少子高齢化や国際化、高度情報化が顕著になり多様化が進む現代社会において、「個々の多様性をつつみこむ社会」の創生が求められています。「アクセシビリティリーダー」は、多様なニーズの特性を良く理解し、障害の有無や身体特性、年齢や言語・文化の違いに関わらず、情報やサービス、製品や環境の「利便性を誰もが享受できる豊かな社会」を創出する人材です。本学では、総合大学として、様々な分野に人材を輩出しておりますが、それぞれの分野の専門的素養に加えて、社会的ニーズでもある「アクセシビリティ」=「利用可能性」「使いやすさ」に関する素養を兼ね備えた人材の育成を行うことにより、より広い分野でアクセシビリティの取り組みを活性化することを目指しています。大学卒業後は、企業や行政、教育機関等における、製品開発、サービス提供、就労環境の整備、CSR活動など様々な場面において、アクセシビリティをリードし、コーディネートが行える人材として、多様な分野での活躍が期待されます。

【広島大学とマイクロソフト社の協力・連携】

アクセシビリティリーダー育成プログラムは、広島大学とマイクロソフト株式会社(本社:東京都渋谷区、以下、マイクロソフト)が2004年10月に開始した、情報社会を担う人材育成推進のための協力関係の取り組みの中で、2006年に本学が日本の大学で初めて完成したものです。

広島大学は、全学的な取組みとして、「誰もが利用しやすいように」予めデザインするという「ユニバーサルデザイン」の概念を、「高等教育」へ適用拡張し、「高等教育のユニバーサルデザイン化」を先駆的に推進・実践してきました。取り組みの一環として、アクセシビリティリーダー育成プログラムがあります。本プログラムにおいて、広島大学は、教育プログラムを開発し、アクセシビリティ関連の授業および認定試験・資格認定を行っています。また、マイクロソフト社は、企業市民活動の一環として、全ての人々がIT(情報技術)の利便性を享受し、快適で豊かな生活をおくることができる社会の実現に向けて、次代の情報社会を担う人材の育成を図っています。

本プログラムにおいては、「アクセシビリティリーダー・キャンプ(研修)」を中心に、最新技術の情報提供、アクセシビリティリーダーの社会展開の支援を行っています。

【アクセシビリティリーダー育成プログラムの概要】

プログラム内容

この育成プログラムは大学院生も含む全学の学生を対象に、体系的に編成されたもので、「オンライン講座」およびアクセシビリティに関連する4つの講義「障害者ボランティア概論」「障害学生支援ボランティア実習A、B」「環境情報アクセシビリティ研究」で構成される、人材育成プログラムです。

プログラムでは、下記の「基礎概念」「障害の特性」「支援技術活用」「環境整備」の内容を「STEP1:意識」「STEP2:知識」「STEP3:経験」「STEP4:技術」「STEP5:創造」の5つのステップを経て、段階的かつ体系的に習得します。

- 基礎概念:「アクセシビリティ」「ユーザビリティ」「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」などの基礎概念

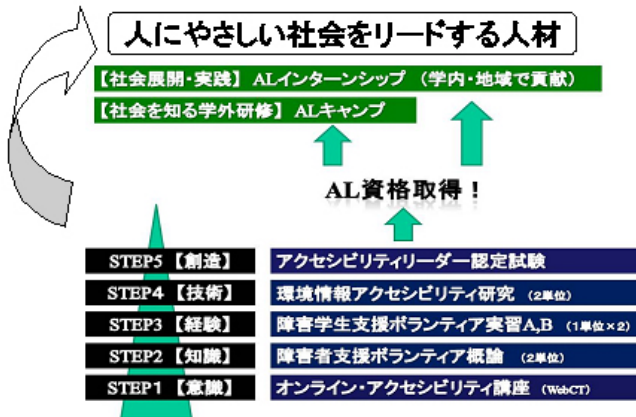
- 障害の特性:視覚や聴覚、運動機能といった身体の障害や、年齢の違い、言語や文化の利害やデジタル格差といったバリアの要因
- 支援技術活用:「見る」「聞く」「動く」「操作する」「学ぶ」「伝える」などの支援技術の活用
- 環境整備:「生活環境」「就学環境」「就労環境」「地域」の環境整備

アクセシビリティリーダー認定

本プログラムにてSTEP4の修了者に対して、広島大学によるアクセシビリティリーダーの認定試験を実施。

アクセシビリティリーダーキャンプ

アクセシビリティリーダー認定者のうち、さらに意欲のある学生を対象に、「社会を知る」「最新の技術動向を知る」「未来を考える」をテーマに、東京のマイクロソフト社を拠点として研修会を提供。



お問い合わせ
 広島大学 アクセシビリティセンター
 電話 & FAX 082-424-6324
 メール achu@hiroshima-u.ac.jp
 (@は半角@に置き換えた上、送信してください。)
 ホームページ <http://home.hiroshima-u.ac.jp/achu/>